

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1102419
園名	鈴ヶ森めばえ幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜の栽培（園舎脇の畑や園内のプランターを利用して季節の野菜を育て自然との関わりを深める。）

<テーマの設定理由>

2. 活動スケジュール

<令和5年度>

令和6年3月 : ジャガイモの苗植えを全学年で行う。

~~~~~

<令和6年度>

令和6年5月 : オクラ、サツマイモの苗を植える。

令和6年6月 : ジャガイモの収穫を行う。その後、園児、保護者の試食会を行う。

令和6年6月末 : ヘイオーツ（緑肥として使用）の種をまく。

令和6年8月末 : ヘイオーツの刈り取りをし、切って緑肥として土の中に混ぜ込む。

令和6年9月 : 玉ねぎの苗植えを全学年で行う。

令和6年10月 : サツマイモの収穫を年長組が行う。その後園児や保護者が試食する。

令和6年10月末 : 玉ねぎの苗がネギダニに食べられた為、小松菜と大根の種をまく。

令和7年2月末 : 全学年で玉ねぎ、大根の収穫を行い、保護者に持ち帰ってもらう。

令和7年3月 : ジャガイモの苗植えを全学年で行う。

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

環境設定としては、農作業に必要なプランターや畑の為の肥料、くわ等を準備する。また、千葉の農家の綿貫さんに依頼して、苗の購入や農作業についての指導を受ける。苗を植える前には、教員が苗の成長していく様子を画用紙に絵を描いて、子ども達が理解しやすいように説明した。苗植えの時は綿貫さん来て頂き、苗の植え方を教えてもらい、子ども達の手でマルチの中に一つずつ植えていくことができた。収穫の時期を迎えると、担任が掘り方等の収穫の仕方を伝え、子ども達は沢山抜いたり掘り出したりすることができた。土に触れ、土の中の虫を見て驚いたり、お芋が出てくると「わあ、まだあった！」と声を上げて喜んでいた。



### 4. 振り返り

#### <振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達は、ジャガイモやサツマイモ等を植える時は、畑の土に触れることを嫌がる姿はなかった。そして、見つけた幼虫に興味を持ち、指先で触っていた。苗植えの説明をした時は興味津々で聞き、指示に従って作業するなど積極的に環境と関わっていた。また家に持ち帰った野菜をお母さんにお料理をしてもらおうと「今まで食べられなかったジャガイモや大根を美味しく食べました。」という保護者からの声があり、やはり自分達が手をかけたものは八百屋さんで購入した物とは違うのだなと感じた。これからも子ども達が自然と触れ合い、多くのものを吸収してほしいと思う。